

### 第3回公民館カフェ ～お食事楽しんでますか？～

第3回公民館カフェは、11月27日にいつもの月島区民館で開かれました。今回も、患者さんやご家族、医療者、企業関係者、メディア関係者など、40名が参加。初参加の方もいればピーターの方もいましたが、お茶とお団子片手に和気藹々とした時間が流れました。

今回のスピーカーは、平成25年4月に国立がん研究センター中央病院栄養管理室長として着任された、管理栄養士の宮内眞弓(みやうちまゆみ)さん。これまで10か所の国立病院に勤務され、病棟への出張料理(ワゴンサービス)や患者さん考案レシピを実現する「お料理コンテスト」など、食べる人の目線を考えた料理を提供してこられました。

宮内さんのこれまでの活動のお話につき、小グループでは「病院でこんなく食>があったらいいな」というテーマでディスカッション。

★「病院でこんなく食>があったらいいな」で出た意見

- ・病院食にも季節感やメリハリがほしい。(焼き鳥、お鍋、しゃぶしゃぶ、バーベキュー！)
- ・思いがけないメニューは嬉しい(てんぷらうどんが出たときには、皆がどよめいた。)
- ・病院レシピを公開するアプリがあってもいいかも。実演サービスも！
- ・栄養士さんや調理師さんと患者さんの交流を！(病棟をまわってほしい。)
- ・患者からもフィードバックを返したい。手紙や感想メモなど。
- ・作り手から「今日のレシピのこだわりポイント」メッセージがあると楽しい
- ・作ってくれたスタッフの顔写真があると親しみがわく。
- ・時に基本予算を超えることがあっても、いい演出をしてほしい。
- ・気分や体調によって、食べる場所が選べると良い。
- ・デザートもほしい。特別洗浄のいちごが出たときは嬉しかった。

など

これらの声に対して宮内さんは、「これまで自分が考えてきたことと似たような意見を頂けて、とても嬉しかったです。」とコメント。

終了後に集まった参加者アンケートでは「他の参加者と話す機会は貴重な時間だった」「ご病気の方がご自分の経験を楽しく話しているのが印象的」「普段は同じがんの患者同士で話すことが多いので、様々な立場の人と話せて新鮮だった」「引き続き、是非いろいろな切り口で語り合う場を作ってもらえたら嬉しい」などの意見が寄せられました。

第4回は、2014年2月に「運動」をテーマにして開催する予定です。年明けから参加申し込みを受け付けます。月島で、皆さまの参加をお待ちしております。

(文責 高橋 都)